

国際ワークショップ

政権交代と日本型政治経済の転換 — 日仏比較の視点から —

主催：グローバルCOEプログラム「多元分散型統御を目指す新世代法政策学」
文部科学省科学研究費基盤研究（A）
「日本型福祉・雇用レジームの転換をめぐる集団政治分析」

共催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター

政権交代を経て日本はどこに向かいつつあるのか。
日本の新しいかたちを比較政治経済学の視点から見ると何が
見えてくるのか。

同じように大きな変化のさなかにあるフランスの日本研究者
の気鋭であるルシュバリエ准教授に多角的に論じてもらい、
議論をふかめます。



報告者：

Sebastien LECHEVALIER

〈セバスチアン・ルシュバリエ〉

EHESS-Center Japon Associate Professor

〈仏国立社会科学高等研究院日本研究所 准教授〉

使用言語：英語 * 討議の際のご質問は日本語でもお受けいたします。

コーディネーター：宮本太郎（北海道大学教授）

日時：2011年3月1日（火） 14:00～17:00

場所：北海道大学ファカルティハウス エンレイソウ第1会議室

参加申込み・問い合わせ先：

E-mail: 0301ws@juris.hokudai.ac.jp <宮本研究室>

※お名前、ご所属先（教員・学生の別）をご記入の上、メールにてご連絡ください。